

共同研究セミナー

東アジアにおける 健康思想の系譜

9/28(木) 養生哲学 武田 時昌

10/5(木) 本草医薬 森村 謙一

10/12(木) 養生文学 大平 桂一

10/19(木) 鍼灸医術 長野 仁

10/26(木) 身体技法 寄金 丈嗣

17:30—19:00 (各日とも)

聴講無料・来聽歓迎

場所：京都大学人文科学研究所本館 大会議室
「東山東一条」交差点北角（市バス「京大正門前」）

主 催：京都大学人文科学研究所

問合せ：京都大学人文科学研究所総務掛

〒606-8501 京都市左京区吉田牛ノ宮町

Tel. 075-753-6902

後 援：(財)人文科学研究協会

ホームページ <http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

知のラビリンスに遊び

東アジアにおける健康思想の系譜

我々は、医療技術の進歩によって死に至る病を克服し、平均寿命を飛躍的に延ばした。しかしながら、古代人よりも健康だと自認する現代人は、いったい何人いるだろうか。健康の科学、長寿のサイエンスと呼べるものはない。その学問的形成には、現代医学の知識に加えて様々な分野からのアプローチが必要である。もしそうしたサイエンス(=知)を模索し、不老回春の仙郷ユートピアを自在に逍遙したいのなら、東アジアの健康思想の系譜を振り返り、古代人の智慧に養生の秘訣を学ぶべきである。

10/5 本草医薬

講師：森村 謙一（もりむら・けんいち）
京都大学人文研非常勤講師

古今の植物のことなら何でもわかる本草研究家。大阪府立加納高校第4代校長。中国の医薬（仙薬を含む）の開発は、本草学という特有な学問分野においてなされた。その博物学的な知識体系を概説し、今日の漢方薬やサプリメントの効用を検討する。

9/28 養生哲学

講師：武田 時昌（たけだ・ときまさ）
京都大学人文科学研究所教授

科学、哲学、宗教と占いの構造把握と数理統合を目指して、共同研究「陰陽五行のサイエンス」を主宰。本講義のコーディネーター兼案内人。天寿を全うすることに人生最大の価値を見出した老子の自然哲学に派生する養生思想の歴史的展開と理論的核心を探り、健康というコンセプトを再考する。



10/26 身体技法

講師：寄金 文嗣（よりかね・たけつぐ）
六然社代表

数々の古武術の達人に於いて、1mの巨誠を刺す妙技もできる疑多きジャーナリスト。先秦の影相由来する導引術は、道教の内丹や武術、武道として多様に受け継がれた。健身体操のルーツともいべき諸技法を実演を披露しながら解説する。

10/12 養生文学

講師：大平 桂一（おおひら・けいいち）
大阪府立大学教授

氣功を舞い、一輪車に乗り、漢詩を自作し、中国人の夢理論を分析する中国文学研究者。中国の文人たちが、健康法についてユニークな言説を数多く残している。その不思議ワールドにしばし誘い、そのテクストを解説し、自分の体で再現していくという作業の楽しさを味わってもらう。

10/19 鍼灸医術

講師：長野 仁（ながの・ひとし）
森ノ宮医学学園講師

NHK教育テレビにレギュラー出演し、某番組で銅人形も鑑定した売れっ子鍼灸師。和方鍼灸の会主宰。鍼灸の医療には、綿々と語り継がれてきた技術的伝統がある。その神技の本質に、臨床セラピーと古典研究の双方の視点から鋭いメス(ハリ?)を入れる。